



となりのしばふシリーズ第1回

声 知 が 森 響 へ

世界の図書館事情

2024年9月7日(土)
13時00分～16時00分

会場
北海道大学オープンイノベーションハブ
「エンレイソウ」メインラウンジ

図書館ってどんな場所？
21世紀のライブラリー、
その最前線から学ぶ
ともに生きるための文化施設論。

+ どんなプログラム？

2022年度からはじまった「北海道大学プラス・ミュージアム・プログラム」は、ひとや社会のさまざまな課題に「ミュージアムをプラスする」方法を考え、学ぶプログラムです。

「となりのしばふ」と題した本シリーズでは、ミュージアムとも近い諸分野の専門家をお招きして、生涯学習社会での学びのあり方をひろく、そしてやわらかく、考えていきます。

今回の講師は、デンマーク、オランダ、アメリカ、日本などの事例から図書館のあり方を考えてきた、筑波大学教授の吉田右子先生。図書館は、静かな、閉ざされた空間というだけで十分なのか。これらの図書館は、個人やコミュニティを支えるための、もっと創造的な、もっと賑やかな空間であってもよいのではないか。このような問いから世界の図書館をみていくことで、ミュージアムを含む文化施設のあり方が浮き彫りになってくるはずです。

+ 講師

吉田 右子 YOSHIDA, Yuko

(筑波大学図書館情報メディア系 教授)



1992年、図書館情報大学大学院修士課程修了。1997年、東京大学大学院教育学研究科博士課程単位取得退学。図書館情報大学助手を経て現在、筑波大学図書館情報メディア系教授(公共図書館論)。主な著作に『メディアとしての図書館：アメリカ公共図書館論の展開』(日本図書館協会、2004年)、『デンマークのにぎやかな公共図書館：平等・共有・セルフヘルプを実現する場所』(新評論、2010年)、『オランダ公共図書館の挑戦：サービスを有料にするのはなぜか？』(新評論、2018年)等がある。

司会・コーディネーター

今村信隆(北海道大学文学研究院 准教授)

Zoomによるオンライン配信もあります
右のフォームからお申込みできます

お申込みは
こちらから！



+ 申し込み方法

参加無料。事前のお申込みが必要です。
締切は、2024年9月5日(木) 13:00です。
右のQRコードより申し込みフォームへとお進みください。

+ お問い合わせ先

〒060-0810 札幌市北区北10条西7丁目
北海道大学文学研究院 内
「プラス・ミュージアム・プログラム」事務局
Mail plasm@let.hokudai.ac.jp TEL 011-706-3017

